



命を守る 避難訓練

防災担当 手操 宙志

先月、「防災の日」に合わせて、避難訓練（シェイクアウト訓練）を行いました。地震を想定したもので、振動音が鳴り響いた途端、子供たちは机の下に入り、椅子の脚をしっかりと握りしめて身を守りました。その後、「自然災害から自分と家族を守る自助」についての動画を見ながら、学年に応じて、避難所での生活等について学習しました。また、この日は、災害時に洗い物ができない環境でも食べられる「セルフおにぎり」や、常温で保存可能な食品（パイン缶詰や高野豆腐）を使った防災献立の給食を食べ、一日を通して防災についての理解を深めました。

「避難訓練は命を守る大切な学習です」と、避難訓練の度に話しています。その命とは、自分の命だけでなく、周りの人の命も含みます。子供たちが救急隊員のような救出等をするということではありません。一人一人が正しい行動をとることで、救助に当たった人が危険にさらされることがなく、より多くの人を助けられると思っています。

今学期は、消防署の方に避難訓練の様子を見ていただき、指導を受けることにしています。これからも、八幡っ子の優しさを力に、自分の命はもちろん、周りの人の命を守るための防災指導を大切にしていきたいと思います。家庭や地域でも、命の大切さやいざというときの行動の仕方について、日々話題にしていきたいと思います。



地域を守る 八幡安全ジャー

4年担任 福山 裕海

4年生は、総合的な学習の時間に「八幡安全ジャー」として、地域の安全について学んでいます。このタイトルには、一人一人が安全を守る“レンジャー”になることで、自分たちの住む八幡を大切に思う心を育てたいという願いがこもっています。

6月には学校探検を行い、地震が起きたときに危険な場所や、安全を守る工夫について調べました。子供たちは「大きなロッカーは倒れてくるから危険だけど、固定されているから安全だね」「ガラスが割れるかもしれないから近付かないようにしよう」と気付きを出し合いました。この学習を通して「学校は安全だけど、家はどうだろう？」と新たな疑問が生まれました。そこで、夏休みには、家庭での安全対策について調べてきました。「寝室に火災警報器を付けている」「ベッドの横にサンダルを置いている」「キャンプ用のソーラーパネルを備えている」と各家庭で様々な工夫をしていることが分かりました。友達の発表を聞き、子供たちは様々な安全対策があることに気付き、自分お家でも取り入れたいと考えていました。

今後は地域の方々からも防災の知恵や体験を学びながら、八幡の安全を守るために自分たちにできることを考え、実践につなげていきます。インタビュー等ご協力ください。



10月18日（土）学習発表会を行います。保護者の方だけでなく、地域の皆様にも見ていただけたらと思っています。お気軽にご来校ください。

11月28日（金）に給食参観を行います。本校栄養士の講話の後、子供たちの給食準備から食事の様子を見ていただく予定です。ぜひご来校ください。